NUDA 北のユニバーサルデザイン協議会
Northern Universal Design Association

飛び込み参加、見学のみ参加、歓迎致します！

ユニバーサルデザイン(UD)とは？

年齢・心身能力・使用環境などを問わず
あらかじめ多様な使用者を想定して
「できるだけだれにでも使いやすいデザイン」
を目指す『創造提案型』のデザインです

アメリカ・ロースカロライナ州立大学で
1985年に教鞭を揮っていた
ロナルド・メイス氏によって提唱されました。
バリアフリーの発展形とした
右の7つの原則が基本概念となっています。

公平性	誰にでも公平に利用できること
自由度	使う上で自由度が高いこと
単純性	使い方が簡単ですぐに分かること
明確性	必要な情報がすぐに理解できること
安全性	うっかりミスが危険につながらないこと
省力性	無理な姿勢をとることなく少ない力でも楽に使用できること
空間性	アクセスしやすいスペースと大きさを確保すること

UDの事例

日本で多く見受けられるUDの事例は
「ものづくり」の分野です。有名な
「シャンプーボトルのギザギザ」や
「斜めドラム式洗濯機」など、
日常生活の様々な場面で
目にする機会が多くなってきました。

また、
自治体の取り組みとして「まちづくり」に活かす場面も増え、
これからの社会に欠かせない概念となりつつあります。

本のユニバーサルデザイン

バリア

見えづらい

視覚障がい者、高齢者の方は特に、見えやすさの面から、小さい文字が読みにくい、配色によっては認識できない、読みにくい書体があったりします。

視覚的バリア → 視覚的改善策

点字本
触覚で楽しむ本

拡大器
通常書籍を拡大表示する機器

大活字本
文字が大きくされた本

視覚以外による情報伝達（音声、点字、凹凸）

言葉の意味が分からない

精神・知的・発達障がい者、子供、高齢者、外国人の方にとっては特に、理解のしやすさという面から、言語的な壁があると言えます。

認知的バリア → 認知的改善策

表現がわかりやすい、写真付きの本
LL本

知的障がい者や自閉症の人などが読みやすくわかりやすい本をめざした本。欧米では普及しはじめており、日本でも図書館員・教員・施設職員・ボランティア・研究者などが取り組んでいます。

翻訳本
翻訳された本

理解しやすい言葉選び、音声、画像の利用、翻訳

ページの開閉ができない

身体障がい者、子供、高齢者の方にとっては特に、握力が弱い、手先が不器用などの理由から、ページがめくり難かったりすることがあります。

身体的バリア → 身体的改善策

DAISY
CDで本を聞く

ENJOY DAISY

DAISYとは、視覚障害者や普通の印刷物を読むことが困難な人々のためにカセットに代わるディジタル録音図書の国際標準規格として、約40ヵ国の会員団体で構成するディジーコンソーシアムにより開発と維持が行なわれている アクセシブルな情報システムです。

＊DAISYは、札幌市視聴覚障がい者情報センターにございます。
詳細はセンターにおたずねください。
札幌市中央区大通西19丁目
Tel：631-6747

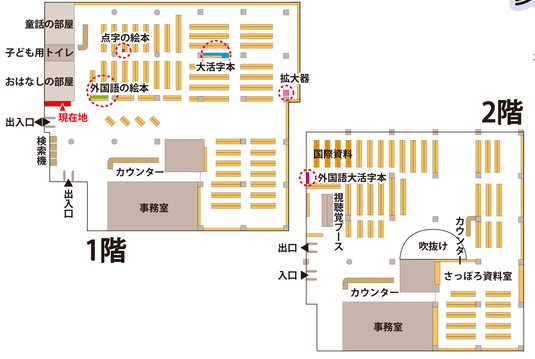
視聴覚障がい者情報センター
http://www.sapporo-jsc.or.jp/

視覚以外による情報伝達（音声）

改善策

ワークショップに参加しませんか？

11月3日（火・祝）13時～15時
札幌市中央図書館 3階 研修室



札幌市中央図書館で体感するユニバーサルデザイン

「北のくらしをあずましく」をテーマに
ユニバーサルデザインの普及と啓蒙を目指し
2008年より活動を行なっております。

興味のある方は、お声がけください。
NUDA公式HP　http://nudaweb.jp/

NUDA 北のくらしをあずましく
北のユニバーサルデザイン協議会
Northern Universal Design Association

いま必要とされているのは、だれもが利用しやすく、すべての人にやさしい、思いやりのある「まちづくり」「ものづくり」です。そして、この根底にあるのが「UD」であると私たちは考えます。

北海道内のUD活動

SAPPORO DESIGN WEEK 2010

主催：北のユニバーサルデザイン協議会・札幌市立大学 デザイン学部／協力：札幌市中央図書館・札幌市視聴覚障がい者情報センター